



機器名 DIGITAL IMAGE STOCKER

型 名 DS-100

書類名 取扱説明書

- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。
誤ったご使用方法是、事故につながる恐れがあります。
 - この取扱説明書は、必要なときに取り出して読めるように大切に保管して下さい。
 - 故障点検、その他のご相談については、当社までご連絡下さい。

目 次

I. はじめに（安全上の注意事項）	1
II. 各種接続方法	3
III. 各スイッチ・LEDの説明	4
1. フロッピーディスクドライブ（以後FDD）	4
2. DS100・LED	4
3. FD・LED	4
4. USB・LED	4
5. MEDIA	5
6. THROUGH	5
7.  PLAY	6
8. PLAY 	6
9. DISPLAY	7
10. REC	8
11. POWER	8
12. 電源LED	8
IV. ファンクションの説明	9
1. リモコンのSWの説明	9
2. F1 FILE TYPE	12
3. F2 FILE NAME	13
4. F3 INDEX No.	14
5. F4 FD FORMAT	14
6. F5 FILE COPY	15
7. F6 FILE SEARCH	17
8. F7 OTHER	18
V. Windows ファイルサーバー機能	20
1. Windows 2000 を使用しての例	20
VI. USB 接続動作確認済みドライブ一覧	24
1. USB フラッシュメモリ	24
2. 外付けMOドライブ	24
3. メモリカード	24
VII. 保 証	24
VIII. 簡易操作ガイド	25
1. フロッピーディスクのフォーマットの仕方	25
2. 画像データの録画の仕方	25
3. 再生の仕方	26
4. 画像データ消去の仕方	26
5. 画像データのUSBフラッシュメモリへのコピーの仕方	27
6. USBフラッシュメモリの外し方	27

I. はじめに（安全上の注意事項）

このたびはデジタルイメージストッカーDS-100を、ご採用いただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書で本機の機能と取扱方法を充分理解していただき、本機を正しく効果的に御使用下さい。

尚、取扱説明書は常に必要な時、すぐ取り出せる場所に大切に保管して下さい。

梱包を開封された時に納品リスト通りに物品が納品されていることを御確認下さい。



危険

- ・回避されなければ、生命や身体に重大な被害（死亡、又は重傷）が発生する可能性が高い危険に使用する。



警告

- ・回避されなければ、生命や身体に重大な被害（死亡、又は重傷）が発生する可能性がある危険に使用する。



注意

- ・回避されなければ、回復可能な軽傷程度の被害、又は物損事故の発生する恐れがある場合に使用する。

以下の注意事項をよく読んで、正しくご使用下さい。



注意

ヒューズ交換

- ヒューズ交換時は、必ず電源を切ってから行って下さい。
- 感電する恐れがあります。
- ヒューズ交換時は、必ず指定のヒューズをご使用下さい。
- 容量の大きなものや、電線などを使用すると、火災の原因となります。
- ヒューズ交換時は、ヒューズが切れた原因を確認し対処してから交換して下さい。
- 再度、ヒューズが切れる原因になります。

ケーブル配線

- ケーブル接続時には必ずコネクタのロックをして下さい。
- コネクタの抜け、又は故障の原因となります。
- ビデオ信号のOUT, INの接続を間違えないようにして下さい。
- 故障や誤動作の原因となります。

フロッピーディスクドライブ

- フロッピーディスクドライブのLEDが点滅中はフロッピーディスクを抜かないで下さい。
- フロッピーディスクのデータが破損する恐れがあります。

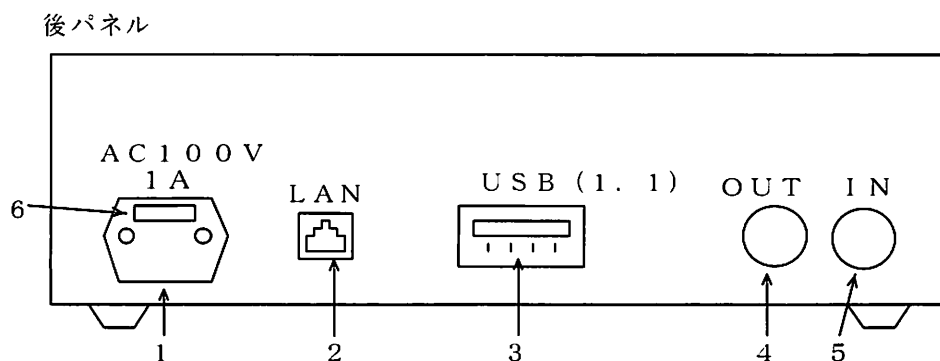
次の環境では使用しないで下さい。

- 周囲温度が0℃～40℃以外になる場所
- 周囲湿度が30%～85%以外になる場所
- 直射日光の当たる場所
- 有毒ガスが発生する場所
- 振動が多い場所
- 油や鉄分を含むホコリの多い場所
- 故障や誤動作の原因となります。

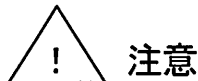
廃棄

- 製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として扱って下さい。

Ⅱ. 各種接続方法



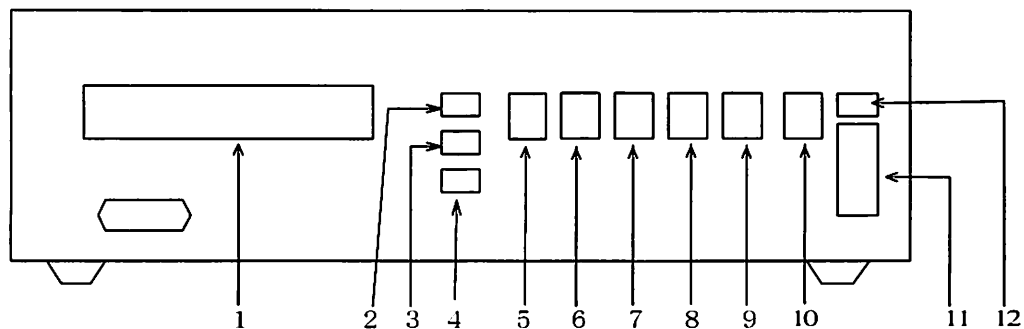
1. 付属のACケーブルを接続し、相手側をAC100Vのコンセントに接続して下さい。
アースは、必ず接地して下さい。
2. イーサネットケーブルを接続して下さい。
(Windowsのネットワーク機能により、内部のコンパクトフラッシュのファイルにアクセスすることが可能です。)
3. USBケーブルを接続して下さい。(USB接続タイプのMOドライブ等を接続して下さい。)
4. FAS本体「O」からのBNCのケーブルを接続して下さい。
5. FAS本体「I」からのBNCのケーブルを接続して下さい。
6. ヒューズホルダーにヒューズ(1A)を入れて下さい。(出荷時、実装済みです。)



- ヒューズ交換時は、必ず電源を切ってから行って下さい。
- 感電する恐れがあります。
- ヒューズ交換時は、必ず指定のヒューズをご使用下さい。
- 容量の大きなものや、電線などを使用すると、火災の原因となります。
- ヒューズ交換時は、ヒューズが切れた原因を確認し対処してから交換して下さい。
- 再度、ヒューズが切れる原因になります。
- ケーブル接続時には必ずコネクタのロックをして下さい。
- コネクタの抜け、または故障の原因となります。
- ビデオ信号のOUT, INの接続を間違えないようにして下さい。
- 故障や誤動作の原因となります。

Ⅲ. 各スイッチ・LEDの説明

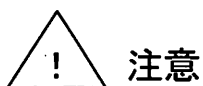
前パネル



注) F Dアクセス中はS W操作は無視されます。

1. フロッピーディスクドライブ (以後FDD)

画像データの録画・再生用に使用します。



- フロッピーディスクドライブのLEDが点滅中はフロッピーディスクを抜かないで下さい。
- フロッピーディスクのデータが破損する恐れがあります。

2. DS100・LED

DS100内蔵のコンパクトフラッシュ (以後C F) を選択している時に黄緑色に点灯します。
又、DS100内蔵のC Fに録画されている画像データを再生中は赤色に点灯します。

3. FD・LED

FDDを選択している時に黄緑色に点灯します。
又、フロッピーディスク (以後F D) に録画されている画像データを再生中は赤色に点灯します。

4. USB・LED

USBで接続しているメディアを選択している時に黄緑色に点灯します。
又、USBで接続しているメディアに録画されている画像データを再生中は赤色に点灯します。

5. MEDIA

録画・再生を行うメディアの切り替えを行うSWです。

- [1] FD→USB→DS100の順に切り替わります。
- [2] FDが挿入されていない場合は、FDには切り替わりません。
- [3] USBにメディアが接続されていない場合は、USBには切り替わりません。

※ 録画動作の速度は内蔵のコンパクトフラッシュを選んで行うのが最も早く行えます。

6. THROUGH

モニターに表示する画像データをカメラからのデータ（スルーモード）と、選択しているメディアからのデータ（再生モード）の切り替えを行うSWです。（電源入力時は、スルーモードです）

- [1] 最初に再生モードに切り替えた時は、選択しているメディアに登録されている画像データの1番日付けの新しい画像を表示します。
- [2] 再生モード中にFDを抜き取り再度FDを挿入すると、6. [1]と同じ動作をします。
- [3] 本製品で録画した画像データ以外は、再生することは出来ません。



注意

- フロッピーディスクドライブのLEDが点滅中はフロッピーディスクを抜かないで下さい。
- フロッピーディスクのデータが破損する恐れがあります。

7. PLAY

PLAYを押すと、選択しているメディアに保存した最新の画像を表示します。

- [1] 最初にこのSWにより再生モードに切り替えた場合は、選択しているメディアに登録されている画像データの1番日付けの新しい画像を表示します。
- [2] 再生モード中にこのSWを押すと、現在表示している画像データの次に日付けの古い画像データを表示します。日付けが1番古い画像データを表示している場合は、日付けが1番新しい画像データを表示します。
- [3] 1秒以内に連続してこのSWを押すと、画像データを読み込まずに選択しているメディアに登録されている画像データのインデックスNo.、又はファイルネームを連続して表示し、画像データの選択をすることが出来ます。(DISPLAY SWでDISP表示有りの場合のみです。)
- [4] 本製品で録画した画像データ以外は、再生することは出来ません。



注意

- フロッピーディスクドライブのLEDが点滅中はフロッピーディスクを抜かないで下さい。
- フロッピーディスクのデータが破損する恐れがあります。

8. PLAY

PLAYを押すと、選択しているメディアに保存した最も日付の古い画像を表示します。

4. PLAYとは逆に選択しているメディアに登録されている画像データの日付けが新しいものを順番に表示します。

それ以外の動作は7. PLAYと同じです。

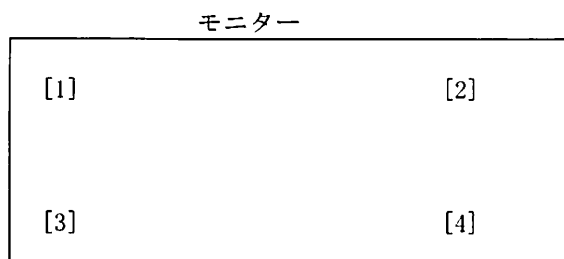


注意

- フロッピーディスクドライブのLEDが点滅中はフロッピーディスクを抜かないで下さい。
- フロッピーディスクのデータが破損する恐れがあります。

9. DISPLAY

モニター上にステータス、インデックスNo、ファイルネーム、年月日時分秒の表示をする／しないの切り替えを行うSWです。



[1] ステータスの表示

THROUGH	: カメラからの画像データをスルー表示中
F/D	: FDの画像データを再生表示中
USB	: USBに接続しているメディアの画像データを再生表示中
DS100	: DS100内蔵のCFの画像データを再生表示中
LOADING	: 選択しているメディアから画像データを読み込み中
FD-FULL	: FDの空き容量が不足している時
USB-FULL	: USBに接続しているメディアの空き容量が不足している時
DS100-FULL	: DS100内蔵のCFの空き容量が不足している時

[2] インデックスNo.の表示

ファンクションモードでインデックスNo.の登録を行った場合、又はインデックスNo.で登録されている画面データを再生表示した場合、下4桁と選択されているFILE TYPEの拡張子(JPG、TIF)を表示します。それ以外の場合は、何も表示しません。

[3] FILE NAMEを表示

ファンクションモードでファイルネームの登録を行った場合、又はファイルネームで登録されている画面データを再生表示した場合、上段にFILE NAME、下段にファイルネームを表示します。それ以外の場合は、何も表示しません。

[4] 年月日時分秒を表示

上段に年月日
下段に時分秒を表示します。

注) 年の表示

00～99は、2000～2099です。

10. REC

モニターに表示されているカメラからの画像データを選択しているメディアに記憶するSWです。
選択しているメディアのディレクトリ「IMFIDX11」(JPEG)、「IMFIDX12」(TIFF)の中に記憶します。又ディレクトリ「IMFIDX11」、「IMFIDX12」がない場合は、自動的に「IMFIDX11」、「IMFIDX12」を作成し、その中に記憶します。

※ 内蔵のコンパクトフラッシュを使った録画が一番早く行えます。

[1] ファイルネームで録画

ファイルネームの登録(IV. 3 (13ページ) 参照)がある場合、そのファイル名で画像データを録画します。

録画後、登録されているファイルネームは削除されます。

[2] インデックスNo.で録画

インデックスNo.の登録がある場合は、そのインデックスNo.のファイル名で画像データを録画します。
又、インデックスNo.、ファイルネームの登録がない場合、選択しているメディアに録画しているインデックスNo.の最大のNo.+1のインデックスNo.のファイル名で画面データを録画します。

[3] 登録したファイルネーム、インデックスNo.が既に選択しているメディアに存在する場合

モニター上に「OVER WRITE」を表示し、以下の操作待ち状態になります。

(1) 上書きする場合

リモコンの「ENT」を押して下さい。

(2) RECを中止する場合

リモコンの「CLR」を押して下さい。

[4] ファイルサイズと記憶容量

内蔵コンパクトフラッシュに記憶出来る容量は32Mバイトです。



注意

●フロッピーディスクドライブのLEDが点滅中はフロッピーディスクを抜かないで下さい。

○フロッピーディスクのデータが破損する恐れがあります。

11. POWER

この装置の電源SWです。

本装置は、電源投入後起動するまでに約20秒ほど時間がかかります。

但し、スルー画像の確認やプリンターへの出力は、すぐに行う事が出来ます。

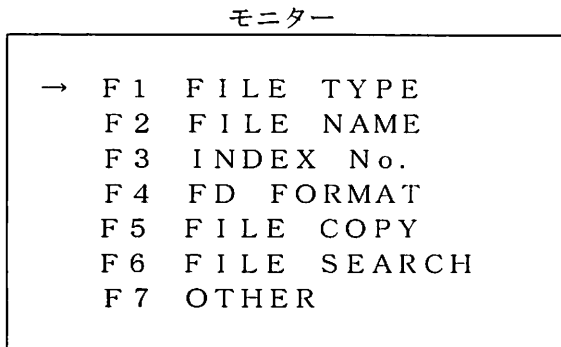
12. 電源LED

電源SWがONしている間、点灯するLEDです。

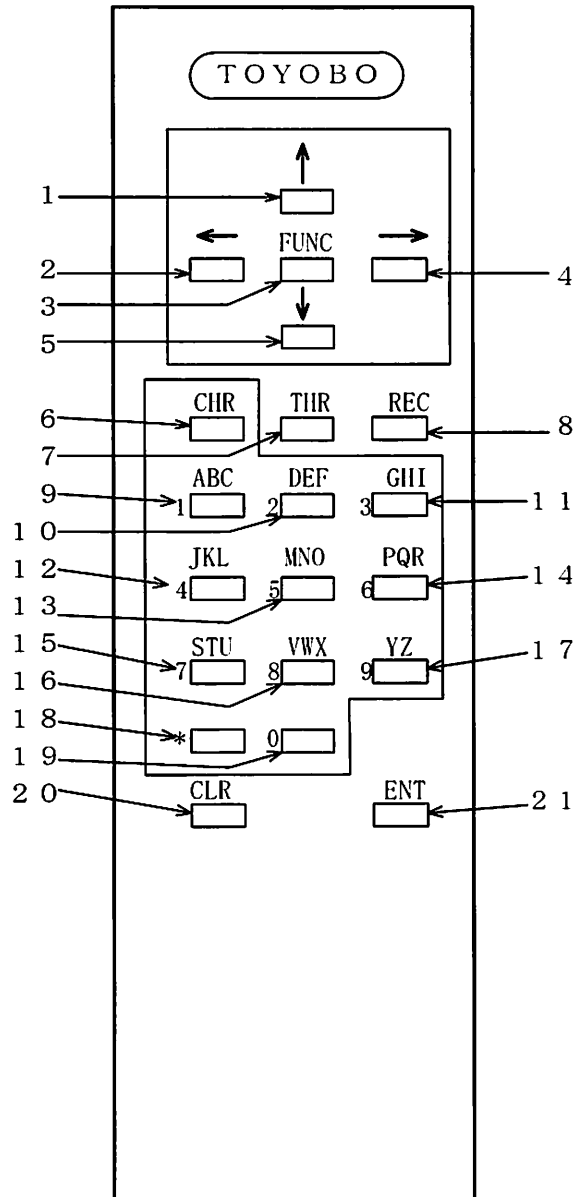
IV. ファンクションの説明

付属のリモコンを使用して操作を行います。

リモコンの「FUNC」を押すと、下図のファンクション一覧を表示します。



1. リモコンのSWの説明



[1] ↑

メニュー画面の→カーソルを上方向に移動する時に使用します。

[2] ←

ファンクションモード時、文字入力時のブリンクカーソルを左方向に移動する時に使用します。
又、ファンクションモード以外の場合は、Ⅲ. 7. (6 ページ)  P L A Y と同じ動作をします。

[3] FUNC

ファンクションモードに入る時に使用します。
又、各モードを抜ける時に使用します。

[4] →

ファンクションモード時、文字入力時のブリンクカーソルを右方向に移動する時に使用します。
又、ファンクションモード以外の場合は、Ⅲ. 8. (6 ページ) P L A Y  と同じ動作をします。

[5] ↓

メニュー画面の→カーソルを下方向に移動する時に使用します。

[6] CHR

ファイル名入力時の数字と英字の切り替えに使用します。

[7] THR

Ⅲ. 6. (5 ページ) T H R O U G H と同じ動作をします。

[8] REC

スルー画面時は、Ⅲ. 10. (8 ページ) R E C と同じ動作をします。
又、F I L E C O P Y の S E L E C T モードでコピーを開始する時に使用します。

[9] 1/ABC

F I L E N A M E モードで、1 又は A B C を入力時に使用します。
又、I N D E X N o. モードで、1 を入力時に使用します。

[10] 2/DEF

F I L E N A M E モードで、2 又は D E F を入力時に使用します。
又、I N D E X N o. モードで、2 を入力時に使用します。

[11] 3/GHI

F I L E N A M E モードで、3 又は G H I を入力時に使用します。
又、I N D E X N o. モードで、3 を入力時に使用します。

[12] 4/JKL

F I L E N A M E モードで、4 又は J K L を入力時に使用します。
又、I N D E X N o. モードで、4 を入力時に使用します。

[13] 5/MNO

F I L E N A M E モードで、5 又は M N O を入力時に使用します。
又、I N D E X N o. モードで、5 を入力時に使用します。

[14] 6/PQR

FILE NAMEモードで、6又はPQRを入力時に使用します。
又、INDEX No. モードで、6を入力時に使用します。

[15] 7/STU

FILE NAMEモードで、7又はSTUを入力時に使用します。
又、INDEX No. モードで、7を入力時に使用します。

[16] 8/VWX

FILE NAMEモードで、8又はVWXを入力時に使用します。
又、INDEX No. モードで、8を入力時に使用します。

[17] 9/YZ

FILE NAMEモードで、9又はYZを入力時に使用します。
又、INDEX No. モードで、9を入力時に使用します。

[18] *

FILE SEARCHモードで、*を入力時に使用します。

[19] 0

FILE NAME, INDEX No. モードで、0を入力時に使用します。

[20] CLR

FILE NAMEモードで、入力した文字を1文字消したい時に使用します。

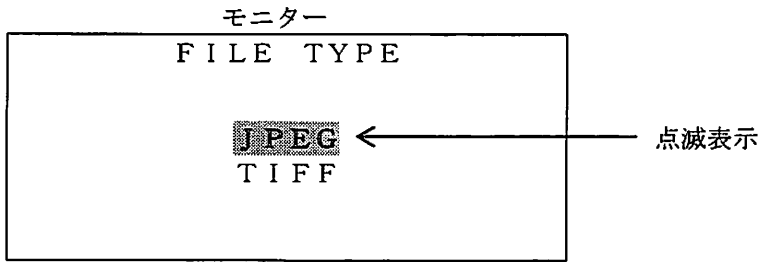
[21] ENT

各モードを選択してそのモードに入る時に使用します、
文字入力時の決定をする時に使用します。
各モードを終了する時に使用します。

各スイッチの詳細は各モードの説明をお読み下さい。

2. F1 FILE TYPE

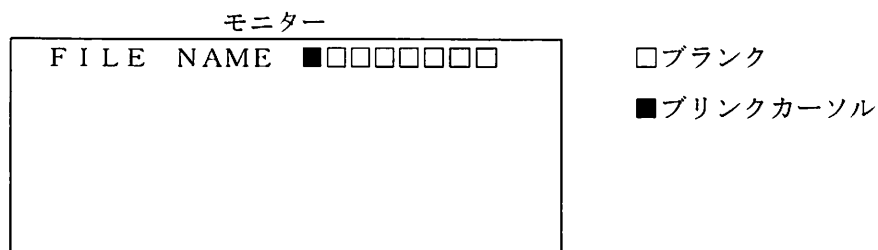
画像データのファイル形式 J P E G, T I F Fの設定を行います。



- [1] リモコンの「↑」「↓」を押すと、モニター上の点滅しているファイル形式が変わりますので、使用するファイル形式に点滅表示を移動して下さい。
- [2] リモコンの「ENT」を押すと、点滅表示しているファイル形式を選択しこのモードを終了します。
- [3] ファイル形式を変更しないでこのモードを終了する時は、リモコンの[FUNC]をおして下さい。
- [4] 電源入力時のファイル形式は、J P E Gです。

3. F2 FILE NAME

スルーモード時に、ファイルネームを入力すると、そのファイルネームで1枚録画することが出来ます。
又、再生モード時に、ファイルネームを入力すると、そのファイルネームのファイルを再生します。
入力したファイルネームのファイルがない場合は、「NO DATA」を5秒間表示します。



[1] ファイルネームの文字入力

- (1) リモコンの「CHR」を押すと、入力文字が数字と英字で切り替わります。
- (2) 違う文字のキーを押すと、ブリンクカーソルが1文字左に移動します。
- (3) ブリンクカーソルは、リモコンの「←」「→」を押すと、入力している文字+1の間で移動することができます。

[2] ファイルネームの文字削除

- (1) リモコンの「CLR」を押すと、ブリンクカーソル上の文字を削除します。
- (2) 入力された文字列で途中の文字を削除した場合、それより右側の文字は全て左に1文字ずれます。

AB C DE → ABDE
 ↑
 削除

[3] ファイルネームの全文字削除

- (1) リモコンの「THR」「CLR」の順で押すと、入力されているファイルネームを全て削除します。

[4] ファイルネームモードの終了

- (1) リモコンの「ENT」を押すと、入力したファイルネームを設定して終了します。
- (2) リモコンの「FUNC」を押すと、入力したファイルネームは設定しないで終了します。

[5] 注 意

- (1) スルーモード時にファイルネーム設定後、再生モードに切り替えた場合、その設定したファイルネームは無効になります。

4. F3 INDEX No.

インデックスNo.の変更を行います。

モニター

INDEX No. CDS ■□□□	☐ ブランク ☒ ブリンクカーソル
--------------------	---

[1] 入力操作は、IV. 3. (13ページ) F2 FILE NAMEと同じですが、数字のみの入力です。

[2] 選択しているメディアにより、INDEX No. の前の3文字が変わります。

内蔵コンパクトフラッシュ -- CDS

内蔵フロッピーディスク ---- FDS

USM接続のメディア ----- MDS

5. F4 FD FORMAT

FDのフォーマットを行います。(1.44M TYPE固定です。)

FDDにFDが挿入されていない場合、画面中央に「F/D?」を5秒間点滅表示し、この動作は無視されます。

注) FDフォーマットは、論理フォーマットのみです。

[1] FDに登録しているファイルがない場合

(1) モニター上に「FD FORMAT」を点滅表示し、FDのフォーマットを開始します。

(2) フォーマット終了後、モニター上に「FORMAT COMPLETE」と表示します。

(3) リモコンの「ENT」を押すと、このモードを終了します。

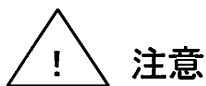
[2] FDに登録しているファイルがある場合(本装置で登録した画像データがある時のみ)

(1) モニター上に「DELETE?」と確認表示します。

(2) フォーマットをする場合は、リモコンの「ENT」を押すとフォーマットを開始します。

又、リモコンの「FUNC」を押すとフォーマットを中止します。

(3) フォーマット開始後は、[1] FDに登録しているファイルがない場合と同じ動作をします。

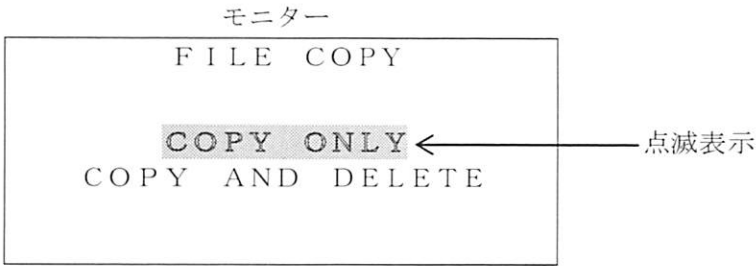


●フロッピーディスクドライブのLEDが点滅中はフロッピーディスクを抜かないで下さい。

○フロッピーディスクのデータが破損する恐れがあります。

6. F5 FILE COPY

内蔵のコンパクトフラッシュに登録されている画像データを他のメディアにコピーすることが出来ます。 コピーをおこなえるのは、選択されているFILE TYPEのみです。

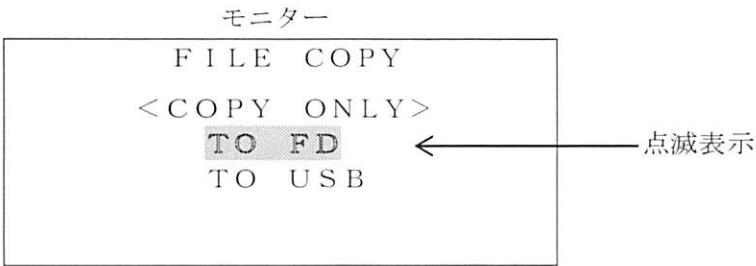


リモコンの「↑」「↓」を押すと、モニター上の点滅表示が上下しますので、実行するモードを選択して、リモコンの「ENT」を押して各モードに入ってください。

- COPY ONLY コピーのみを行います。
- COPY AND DELETE コピーした後、コピー元の画像データを削除します。

[1] TO FD・TO USB

コピーする相手側の選択を行うことが出来ます。



リモコンの「↑」「↓」を押すと、モニター上の点滅表示が上下しますので、実行するモードを選択して、リモコンの「ENT」を押して各モードに入ってください。

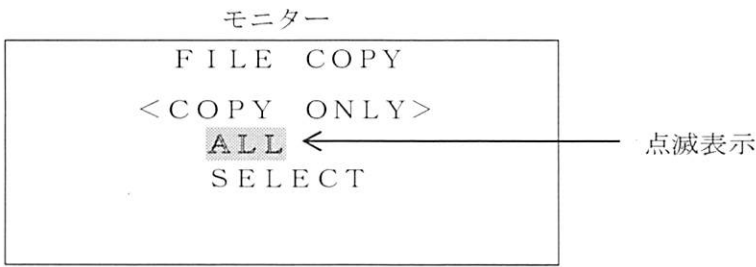
- COPY ONLY コピーのみを行います。
- COPY AND DELETE コピーした後、コピー元の画像データを削除します。

- TO FD 内蔵のフロッピーディスクにコピーします。
- TO USB USBに接続しているメディアにコピーします。

注) メディアの準備の出来ていない場合は、そちらには切り替わりません。

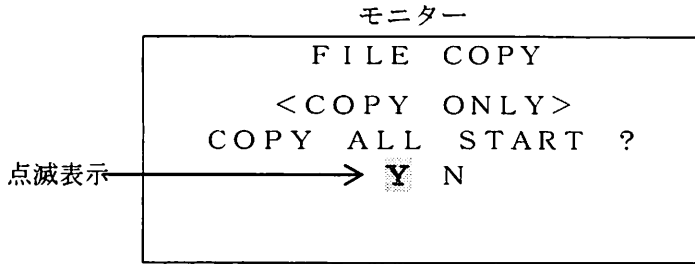
(1) ALL SELECT

全てのデータをコピー又は、選択したデータのみをコピーの切り替えを行います。



リモコンの「↑」「↓」を押すと、モニター上の点滅表示が上下しますので、実行するモードを選択して、リモコンの「ENT」を押して各モードに入ってください。

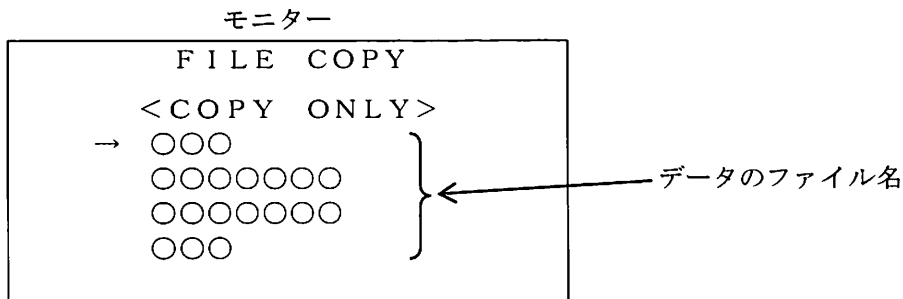
1) ALL



リモコンの「←」「→」を押すと、点滅表示が切り替わります。

- a) コピーを開始する時はYを点滅表示し、リモコンの「ENT」を押して下さい。
コピー終了後、「COPY COMPLETE」とモニター上に5秒間表示後、このモードを終了します。
- b) コピーをしないでこのモードを終了する場合は、Nを点滅表示し、リモコンの「ENT」を押すと、IV. (9ページ) ファンクションの説明の画面に戻ります。
又、リモコンの「FUNC」を押すと、IV. 6. [1] (15ページ) TO FD, TO USBの画面に戻ります。
- c) コピー先のメディアの容量がなくなった場合は、「FD-FULL」「USB-FULL」等を表示し、コピーを中断します。続けてコピーしたい場合は、容量がなくなったメディアを交換して、リモコンの「ENT」を押してコピー動作を続けることができます。又、中断したところでコピー動作を止める場合は、リモコンの「FUNC」を押して下さい。中断するまでのデータは、コピー完了しています。
- d) コピー中にエラーが発生した場合は、「COPY ERROR」を5秒間表示し、IV. (9ページ) ファンクションの説明の画面に戻ります。

2) SELECT

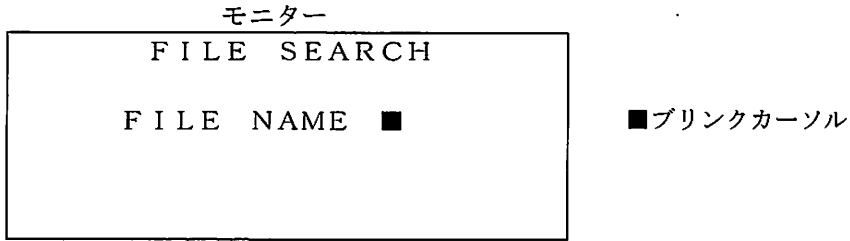


リモコンの「↑」「↓」を押すと、モニター上の→が上下に移動します。
ファイル名は4つまで表示します。

- a) コピーをするデータを選択する場合は、モニター上の→をそのデータの位置まで移動し、リモコンの「ENT」を押して下さい。
データのファイル名の左に「×」が表示されると、そのデータは選択しています。
- b) 選択したデータをコピーする場合は、リモコンの「REC」を押して下さい。
コピーの動作は、IV. 6. [1]. (1). 1 (16ページ) ALLと同じ動作です。
コピーが終了すると、ファンクションの説明の画面に戻ります。
- c) コピーをしないでこのモードを終了する場合は、リモコンの「FUNC」を押して下さい。
IV. 6. [1] (1) (15ページ) ALL SELECTの画面に戻ります。

7. F6 FILE SEARCH

選択されているメディア内で画像データのファイル名を入力して、その画像データを表示することが出来ます。（選択されているFILE TYPEのみです。）



- [1] ファイル名を入力方法は、IV. 3. (13 ページ) F2 FILE NAMEと同じです。
- [2] ファイル名を入力後、リモコンの「ENT」を押すと、該当するファイルの一覧を表示します。



- [3] リモコンの「↑」「↓」を押すと、モニター上の→が上下に移動するので、再生したい画像データのファイルを選択して下さい。
→の位置にある画像データを再生します。
- [4] リモコンの「FUNC」を押すと、IV. (9 ページ) ファンクションの説明の画面に戻ります。
- [5] リモコンの「*」の使い方
サーチする画像データで、ファイル名の最初の何桁かが同じ名前の画像データの一覧を表示したい時に使用します。

FILE NAMEにFDS1*と入力した場合は、登録されているデータのファイル名がFDS1で始まる画像データの一覧を表示します。

8. F7 OTHER

時間の設定、ファイルの削除、JPGの圧縮率の変更を行います。

下図のファンクション一覧を表示します。

モニター

```

→ E1 TIME SET
   E2 DELETE
   E3 JPG LEVEL
   E4 IP ADDRESS
   E5 USB UMount
  
```

リモコンの「↑」「↓」を押すと、モニター上の→が上下しますので、実行するファンクションモードの位置に→を移動し、リモコンの「ENT」を押して各モードに入ってください。

このモードを終了する時は、リモコンの「FUNC」を押すと終了します。

[1] E1 TIME SET

時刻の設定を行います。

モニター

```

■○/○○/○○  ○○:○○:○○
  
```

■ブリンクカーソル

- (1) 変更したい時刻の位置にブリンクカーソルをリモコンの「←」「→」を押して移動して下さい。
- (2) 移動後、リモコンの「0」～「9」のキーで変更したい時刻に変更して下さい。
- (3) 変更したい時刻に変更したら、リモコンの「ENT」を押して設定して下さい。
- (4) リモコンの「FUNC」を押すと、このモードを終了します。

リモコンの「ENT」を押さないでこのモードを終了した場合は、変更した時刻は無効になります。

[2] E2 DELETE

モニター上に再生表示している画像ファイルを削除します。

- (1) モニター上に「DELETE?」と確認表示します。
- (2) 削除する場合は、リモコンの「ENT」を押すと削除します。
- (3) 削除しない場合は、リモコンの「FUNC」を押すとこのモードを終了します。
- (4) 削除後は、モニターにDELETE COMPLETEが5秒間表示し、削除したファイルより1つ日付の新しいものを再生表示します。
- (5) 削除後は、選択したメディアにデータがない場合、NO DATAを表示します。
- (6) スルーモードの場合は、このモードには入りません。

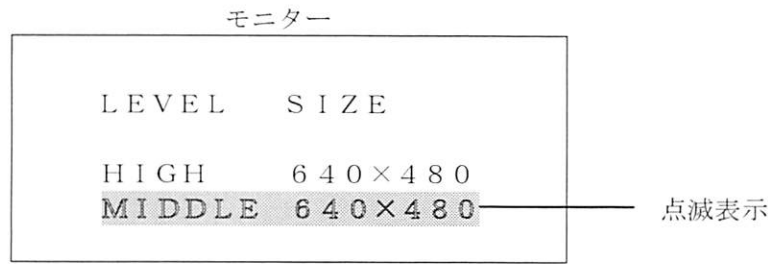


注意

- フロッピーディスクドライブのLEDが点滅中はフロッピーディスクを抜かないで下さい。
- フロッピーディスクのデータが破損する恐れがあります。

[3] E3 J P G L E V E L

画像データ録画時に、画像データの圧縮率を設定します。

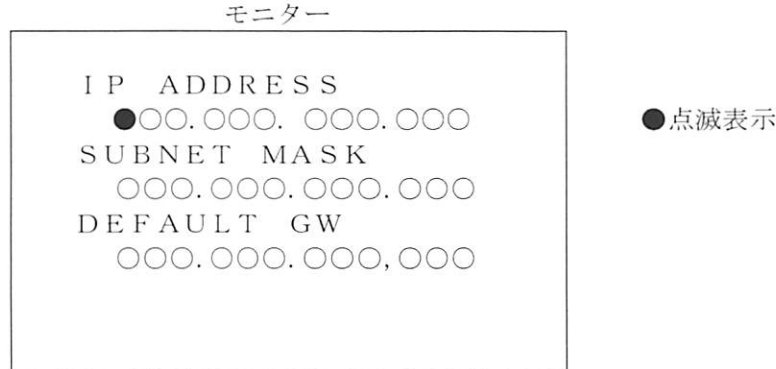


HIGH : 圧縮率が少ない為、ファイルサイズが大きくなります。
MIDDLE : 圧縮率が高い為、ファイルサイズが小さくなります。

- (1) リモコンの「↑」「↓」を押すとモニター上の点滅しているレベルが変わりますので、使用する圧縮率に点滅表示を移動して下さい。
- (2) リモコン「ENT」を押すと点滅表示しているレベルに設定して、このモードを終了します。
- (3) リモコンの「FUNC」を押すと、レベルの設定は変更しないで、このモードを終了します。
- (4) 電源入力時の設定は、MIDDLE側です。

[4] E4 I P A D D R E S S

本装置のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値を設定します。



- (1) 変更したいアドレスの位置をリモコンの「←」「→」を押して点滅表示にし、リモコンの「0」～「9」のキーで値を変更して下さい。
- (2) リモコンの「ENT」を押すと、モニターに表示しているアドレスの値が設定され、このモードを終了します。
- (3) リモコンの「FUNC」を押すと、入力した値に変更をしないで、このモードを終了します。
尚、変更した内容は一度電源をOFFして、再度起動した後に有効になります。

[5] E5 U S B U M O U N T

USBに接続されているMOドライブ又は、カードリーダー／ライターに挿入されているメディアを抜き取る時、又は交換する時にこの作業を行って下さい。

(USBフラッシュメモリはこの作業をしなくても抜き差し出来ます)

- (1) このモード入りますと、「NEW MEDIA OK ?」と表示しますので、MOドライブ又は、カードリーダー／ライターに挿入されているメディアを抜き取る事ができます。
この時に、メディアを交換したい時は、別のメディアを挿入して下さい。
- (2) メディアを抜き取って終了する場合は、リモコンの「FUNC」を押してください。
メディアを交換する場合は、メディアを交換後リモコンの「ENT」又は「FUNC」を押して下さい。

V. Windows ファイルサーバー機能

本装置は、UNIX 互換 OS の Linux を使用して動作しており、Samba を使用して Windows ファイルサーバーを構築する事が出来ます。

Windows ファイルサーバーを使用して、本装置内蔵の CF の内容を見る事が出来ます。

1. Windows 2000 を使用しての例

[1] 本装置の IP アドレスを設定して下さい。(IV. 8. [4] (19 ページ) 参照)

この設定は御使用されるネットワークの IP アドレスの構成によって異なりますので、設定の際はネットワーク管理者等とご相談の上お願いします。

[2] パソコンの IP アドレスを設定して下さい。

通常インターネット等に接続して御使用されているパソコンの場合は、以下の設定を行う必要はないと思われます。

参考の為に固定的に IP アドレスを設定する方法を示します。

- (1) コントロールパネルを開きます (スタート→設定→コントロールパネル)
- (2) 「ネットワークとダイヤルアップ接続」のアイコンをダブルクリックし、使用している LAN のデバイスをダブルクリックして下さい。

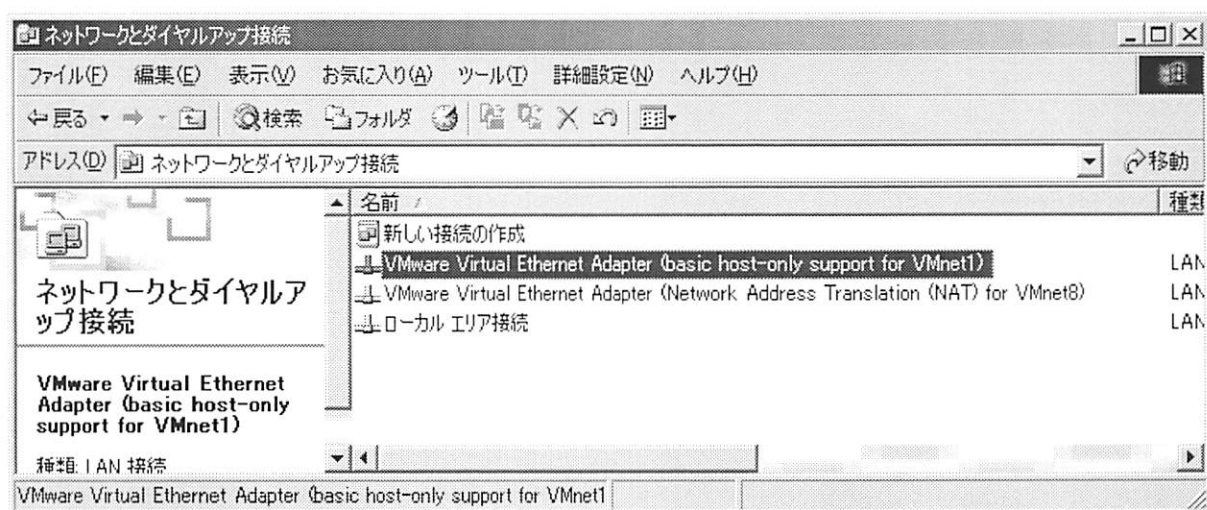


図 1

(3) 下記の図で「プロパティ (P)」をクリックして下さい。

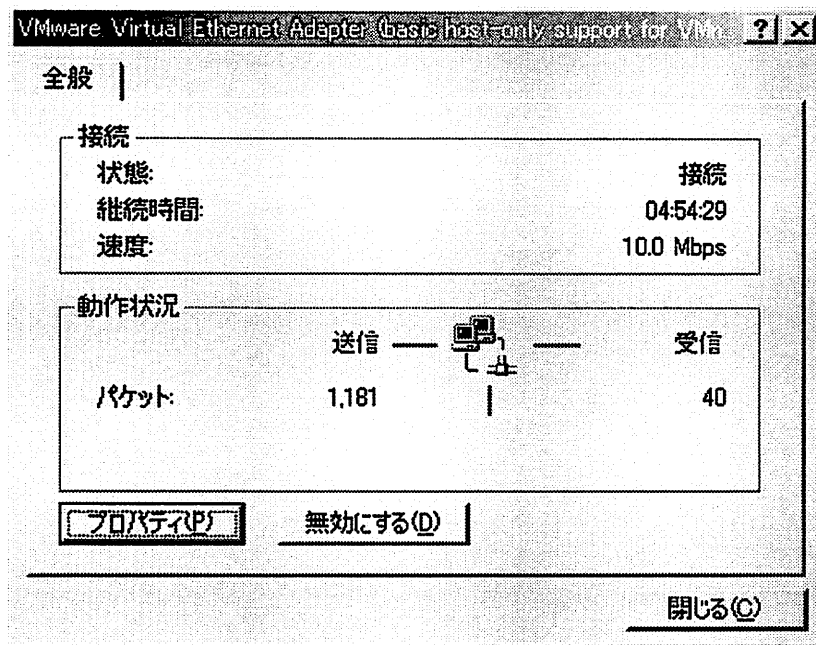


図 2

(4) 下記の図で「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択 (クリック) し「プロパティ (R)」をクリックして下さい。

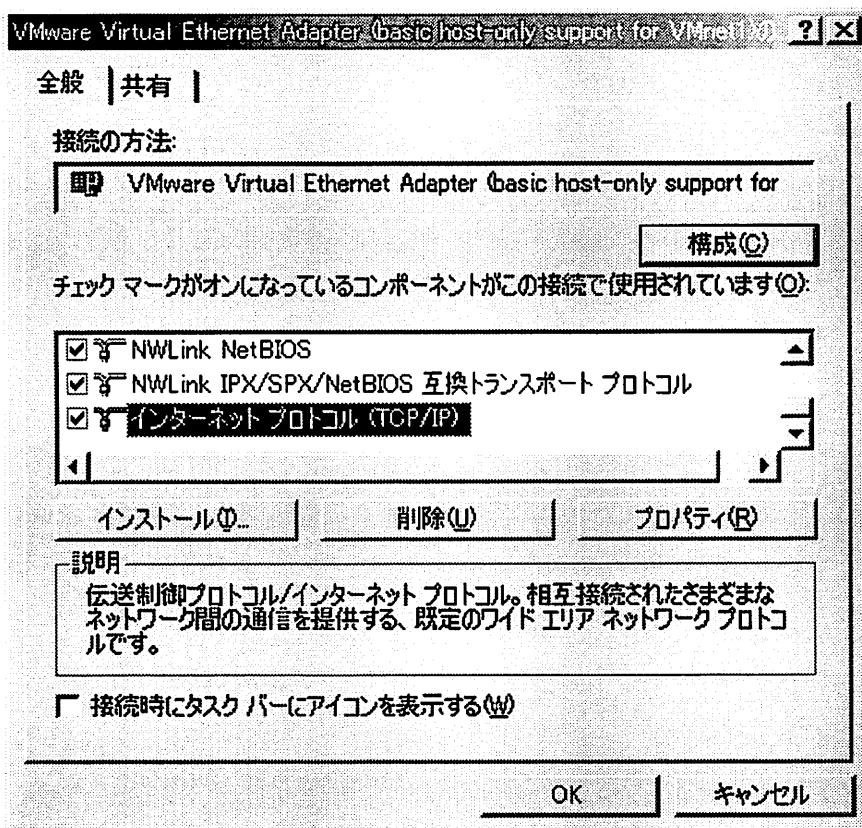


図 3

- (5) 下記の図で「次の IP アドレスを使う (S) :」を選択 (クリック) し「IP アドレス (I) :」・「サブネットマスク (U) :」・「デフォルトゲートウェイ (D) :」を設定して、「OK」をクリックして下さい。

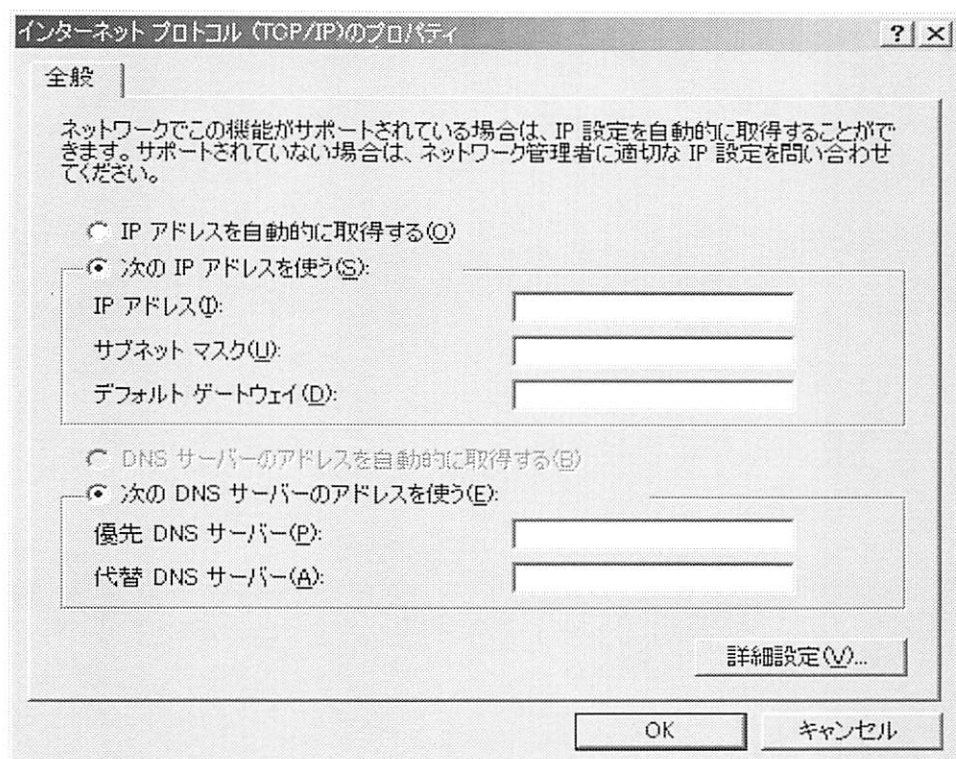


図 4

- (6) 以上で設定は完了されましたので、この作業で開いた窓を全て閉じて下さい。

- [3] 「エクスプローラ」を起動して、「マイネットワーク」の中の「近くのコンピュータ」を開いて下さい。



図 5

- [4] 「Ds-100」をダブルクリックして下さい。
内蔵のコンパクトフラッシュの内容が表示されます。

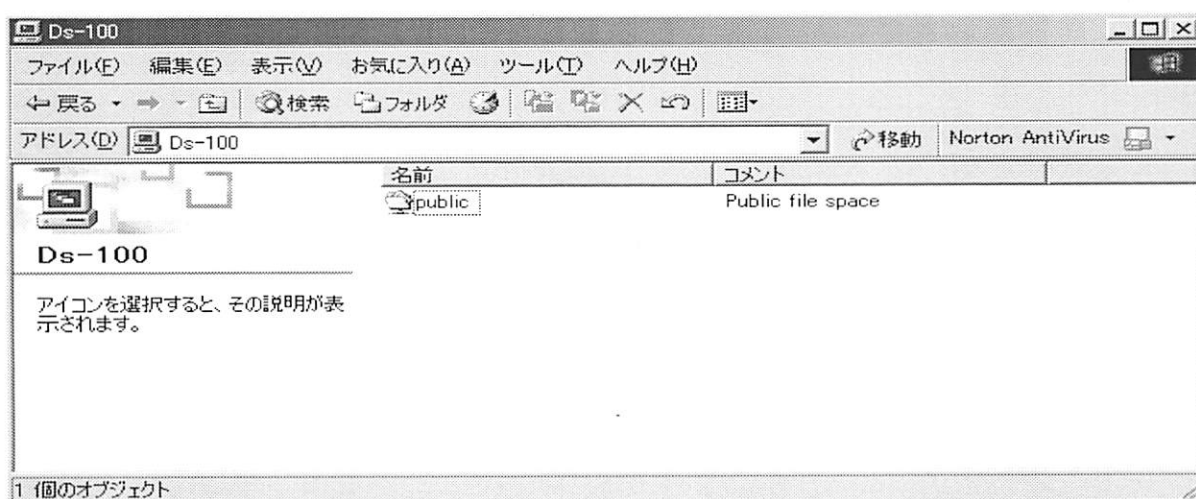


図6

VI. USB接続動作確認済みドライブ一覧

1. USBフラッシュメモリ

型番	メーカー
RUF-C128M	BUFFALO
RUF2-S256-BS	BUFFALO
RUF-C512ML-P/U2	BUFFALO
EDC-128M/R	IO DATA
TB-B512/B	IO DATA

2. 外付けMOドライブ

型番	メーカー
MO643U7	BUFFALO
HMO-640USB2	FUJITSU

(DS-100起動後に、MOドライブの電源をONした場合のみ動作可能)

3. メモリカード

型番	メーカー
ImageMate “6 in 1	SanDisk

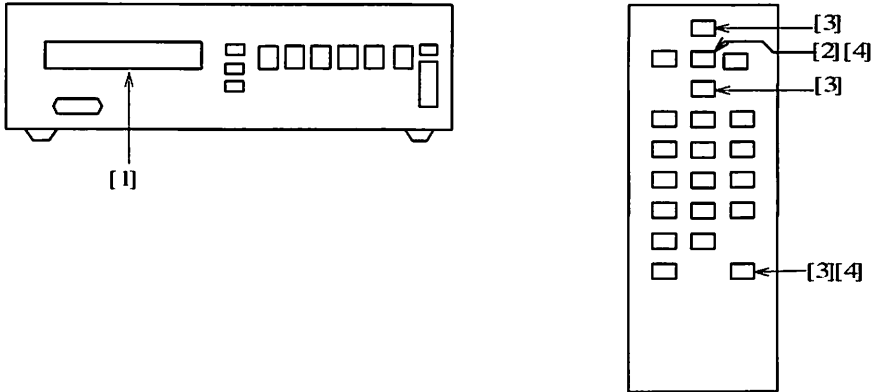
VII. 保証

納入後1ケ年以内に発生した故障に対し、無償修理を行います。
但し、取扱、操作ミス、誤接続等によって発生した故障の場合は、有償修理をお願いします。

VIII. 簡易操作ガイド

1. フロッピーディスクのフォーマットの仕方

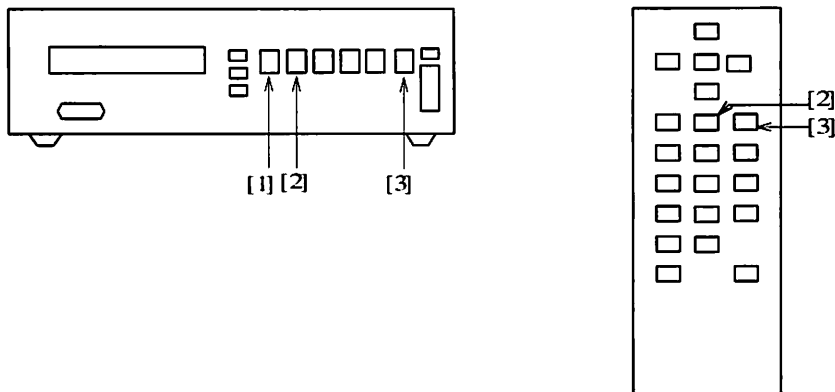
- [1] フロッピーディスクをセットして下さい。
- [2] リモコンのFUNCを押し、モニター上にファンクション画面を表示して下さい。
- [3] →をFD FORMATの位置に移動し、リモコンのENTを押して下さい。
- [4] フロッピーディスクにデータがない場合は、フォーマットを開始します。
又、データがある場合は、モニター上に確認画面を表示しますので、リモコンのENT でフォーマットを開始し、FUNCでフォーマットを中止します。



2. 画像データの録画の仕方

- [1] 録画するメディアを選択して下さい。
- [2] モードをスルーモードにして下さい。
- [3] 本体前パネルのREC、又はリモコンのRECを押して下さい。
- [4] 選択したメディアのメモリ容量が無い場合、「***-FULL」を5秒間点滅表示します。

注) ファイルネーム、インデックス No.を指定する場合は、IV. 3. F2 FILE NAME(13 ページ)、IV. 4. F3 INDEX No.(14 ページ)を参照して下さい。

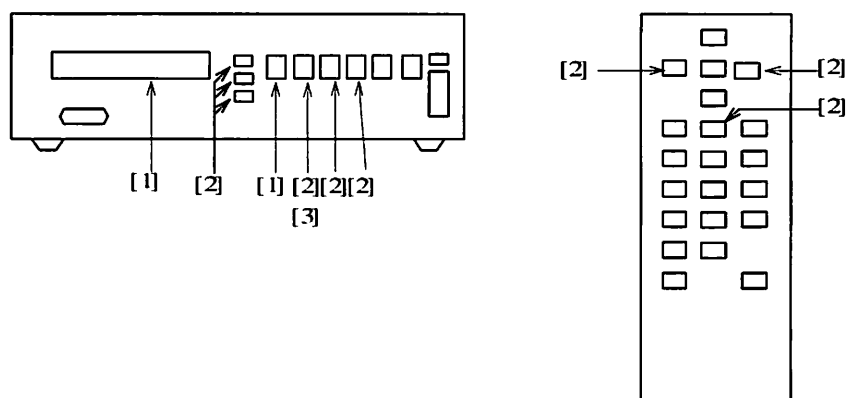


3. 再生の仕方

- [1] 再生するメディアを選択して下さい。
 [2] 本体前パネルのTHROUGH、PLAY、PLAY、又はリモコンの←、→、THRを押して下さい。

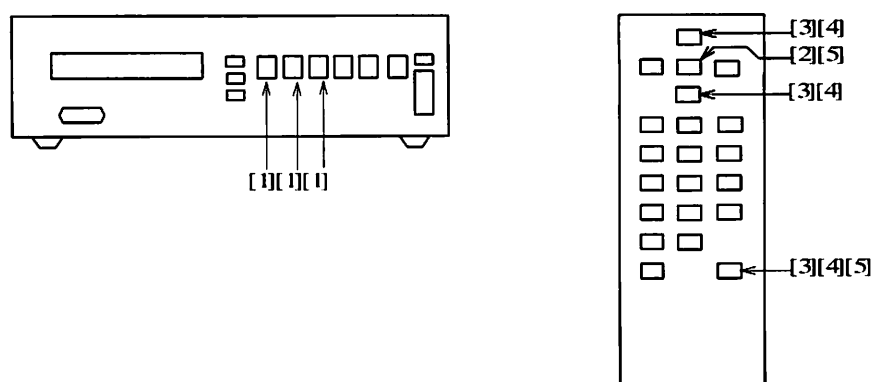
本体前パネルの選択しているメディアのLEDが赤く点灯します。

- [3] 本体前パネルのTHROUGH、又はリモコンのTHRでスルーモードに切り替わります。



4. 画像データ消去の仕方

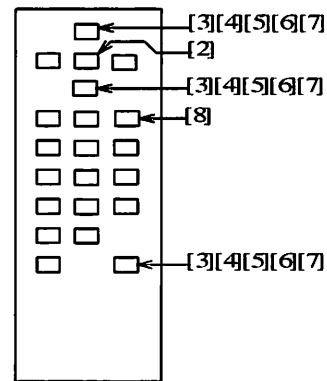
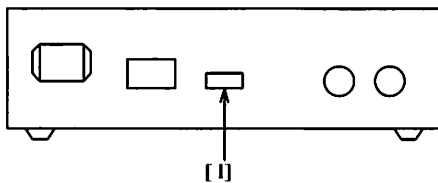
- [1] 消去したい画像データを再生表示して下さい。
 [2] リモコンのFUNCを押し、モニター上にファンクション画面を表示して下さい。
 [3] →をOTHERの位置に移動し、リモコンのENTを押して下さい。
 [4] →をDELETEの位置に移動し、リモコンのENTを押して下さい。
 [5] モニター上に確認画面が表示しますので、リモコンのENTで実行、FUNCで中断します。



5. 画像データのUSBフラッシュメモリへのコピーの仕方

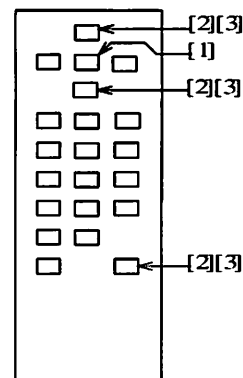
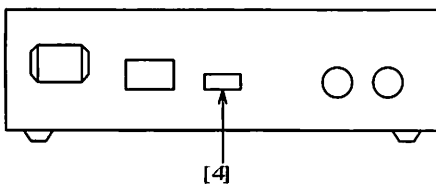
(コピー時にコピー元の画像データを残し、コピーするデータを選択する場合)

- [1] コピーしたいUSBフラッシュメモリをUSBのコネクタへ接続して下さい。
- [2] リモコンのFUNCを押して、モニター上にファンクション画面を表示して下さい。
- [3] →をFILE COPYの位置に移動しリモコンのENTを押して下さい。
- [4] COPY ONLYを点滅表示し、リモコンのENTを押して下さい。
- [5] TO USBを点滅表示し、リモコンのENTを押して下さい。
- [6] SELECTを点滅表示し、リモコンのENTを押して下さい。
- [7] →をコピーしたい画像データのファイルの位置に移動し、リモコンのENTを押して下さい。
- [8] コピーしたい画像を全て選択後、リモコンのRECでコピーを開始します。



6. USBフラッシュメモリの外し方

- [1] リモコンのFUNCを押して下さい。
- [2] →をOTHERの位置に移動し、リモコンのENTを押して下さい。
- [3] →をUSB UMountの位置に移動しリモコンのENTを押して下さい。
- [4] NEW MEDIA OK ?と表示しますので、この時にUSBフラッシュメモリを外して下さい。



ー納期・注文に関するお問い合わせー

バイオ事業部（大阪）

〒530-8230 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号

TEL (06)6348-3786 FAX (06)6348-3833

E-mail: order_lifescience@bio.toyobo.co.jp

バイオ事業部（東京）

〒103-8530 東京都中央区日本橋小網町17番9号

TEL (03)3660-4819 FAX (03)3660-4951

E-mail: order_lifescience@bio.toyobo.co.jp

ー製品の内容・技術に関するお問い合わせー

テクニカルライン

TEL (06)6348-3888 FAX (06)6348-3833

開設時間: 9:00～12:00, 13:00～17:00（土、日、祝を除く）

E-mail: techosk@bio.toyobo.co.jp

[URL] <http://www.toyobo.co.jp/seihin/xr>